

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 33122

区分	補助金・交付金	担当課	健康長寿課	作成日	H24.5.25
事業名	シルバー人材センター運営費補助金	開始年度	平成19年	予算科目	3.1.4.4.2

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第3部 健康でゆとりとふれあいのまちづくり	章	第3章 ゆとりと生きがいのある高齢者施策の推進
節	第1節 生きがいづくりと社会参加の促進	基本施策	2 高齢者雇用の促進
取組みの基本方向		(2)シルバー人材センターの活動を支援します。	
根拠法令等	公益社団法人愛川町シルバー人材センター補助金交付要綱		
目的 (誰・何を対象に、何のために)	健康で働く意欲を持つ概ね60歳以上の高齢者が経験、能力を生かして働く機会を確保・提供し、地域社会への参加を通して生きがいの高揚、高齢者福祉の推進を図る公益社団法人愛川町シルバー人材センターの運営費(人件費等の管理費)の一部を補助することにより、シルバー人材センターの安定的な運営を図る。		
内容・方法 (何を行っているのか)	【町の補助金内容】運営費(人件費等の管理費)の一部を補助 【団体の活動内容】一般家庭、企業及び町等から依頼を受けた臨時的又は短期的その他の軽易な業務をシルバー人材センターに登録している会員が行い、就労した会員に就労期間に応じた配分金を支払う。 【団体のH23期末正味財産】22,966,459円		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『生きがいづくりと社会参加の促進』について「満足」と感じる住民の割合(%)		36.9		42.0		
		シルバー人材センター入会者数(人)		210		358		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	シルバー人材センター入会者数(人)	増	シルバー人材センターに入会した方的人数	計画値		220	238	257
				実績値	247	247	252	
				達成度※自動計算		112.3	105.9	
活動指標	予算執行率(%)		当初予算額に対する執行額の割合	計画値		100.0	100.0	100.0
				実績値	100.0	100.0	100.0	
				達成度※自動計算		計測不能	計測不能	計測不能

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度	基準年度(決算) (H 22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A) 事業費(円)	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000
(B) 概算職員数(人)	0.004	0.004	0.004	0.004
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	33,200	33,200	33,200	33,200
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	7,033,200	7,033,200	7,033,200	7,033,200
単位当たりコスト※自動計算	28,474.5	28,474.5	27,909.5	
財源内訳 (円)	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源※自動計算	7,033,200	7,033,200	7,033,200

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か 必需性 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか	高 高	A
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している 基準年度と比較して成果が向上している	○ ○	A
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い E 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い F 費用が増加し、成果も低下している	向上率 102.02% 縮減率 100.00%	A
総合評価 ※自動判定		良好に実施できている	

5. 特記事項

- ・平成24年4月からの公益法人移行に伴い、地域の特性を活かした就業の開拓及び就業支援システムの構築を図る必要がある。
- ・国の高齢者就業機会確保事業費等補助金(地方公共団体の補助金額を上限として補助することにより、高齢者の就業機会の確保などに資するもの)がある。

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由	町内の法人税収入が回復傾向であるとはいえ、依然として、シルバー人材センターの経営環境は難しく、管理費(人件費及び一般運営費)を対象とした補助金なしでは、自主運営が出来ないため。		
今後の方向性	高齢者等の雇用安定等に関する法律の趣旨に則り、シルバー人材センターの自主的な努力を尊重しつつ、その実情に応じて必要な援助等を行う。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	ただし、受託事業の増加など、自立性を高める方向での支援を検討すべきである。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等			

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

高齢者等の雇用安定等に関する法律の趣旨に則り、シルバー人材センターの自主的な努力を尊重しつつ、その実情に応じて、自立性を高める方向で、必要な援助等を行う。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由・改善方針	当面は現状のまま事業を継続しつつ、所管課の対応案のとおり、シルバー人材センターの自立性を高める方向で、必要な援助等を行うものとする。		